

# 『クッキーをつくりたい』 4歳児 9月 伏見こども園

さら砂をつかってみよう



捏ねられるかな？

捏ねようとしても  
崩れるよ



## エピソード

「こっちのザルの方がサラサラになるよ」と、さら砂をつかって遊んでいました。①「そのさら砂を次はどうするの？」と尋ねるとAくんは「水を混ぜて捏ねたいんだ」Bちゃんは「捏ねてクッキーにしたい」と話しました。Aくんが水を取りに行くと、Bちゃんは「いっぱい水を入れたらドロドロになるよ」①「ほんとうだね」と、今までの経験から水の量を調整しないといけないことをAくんに伝えました。Aくん「じゃあ、ちょっとずつ入れよう」と、水を少し入れて捏ねるとBちゃん「まだサラサラだよ」Aくん「じゃあもう少し」と、繰り返し水を調節しながら、クッキーの生地のようにしようとしていました。クッキーの型に捏ねたさら砂を入れましたが、思うように型は取れませんでした。遊びの後の話し合いでは、クッキーづくりをしたことのある友達が「小麦粉を使ってるよ」と、話しているのを聞いてAくん「大きい組さんが茶色の粉を使ってたよ」と、5歳児がぬかを使って遊んでいたことを思い出しました。Cちゃん「私もぬかを使ってみよう」と話し、今度はぬかを使ってクッキーづくりをすることになりました。

## 子どもの育ちや学び

- ・今までの経験から、水の量を調節しないと捏ねやすい固さにならないことに気づき、友達に伝える姿がありました。
- ・混ぜながら手で確認し、水を混ぜたり、さら砂を混ぜたりして自分達の思う固さにしていきました。
- ・さら砂ではクッキーの型が取れないということに気づき、思い通りにならなかったことを次どのようにするか話し合いました。
- ・話し合うことで、他学年のしていたことに目を向け、自分達も使ってみようという思いが芽生えました。

## 保育者の思い

・どのような思いをもっているのか知りたいと思い、尋ねてみました。

・今までの経験から、水の量を調節しないといけないことに気付いたことに共感しました。

・自分達の思う固さにしようと、繰り返し調節する姿を見守りました。

・どのようにすると、捏ねやすくなりクッキーの型にできるのか、友達の思いに耳を傾けてほしいと思い、話し合いで取り上げました。

## 家庭だったら・・・

やってみようという思いから今までの経験を活かし、子ども達なりに考えて遊ぶ姿が見られます。家庭でも子ども達の『やってみよう』『こうしたい』という思いに耳を傾け、子ども達が今どのような思いをもっているか聞いてあげてください。

# 『おにぎりをつくってみよう』 4歳児 9月 伏見こども園

水を混ぜると戻らと思うよ



私もやってみよう

おにぎりになったかも



## エピソード

前回の話し合いからぬかを使って遊んでいました。水の量を調節しながら団子をつくり乾燥させていました。

2日後カチカチに固まると、Aちゃん「水を混ぜたら、柔らかくもどると思うよ」①「柔らかくなるの?」と尋ねると、Bちゃん「柔らかくなったらおにぎりつくろう」と、固まったぬかに水を少しずつ入れ柔らかくしていきました。その様子を見ていたCちゃんも「私もやってみよう」と、別のボールに水とぬかを入れ混ぜ始めました。Cちゃんは柔らかくなったぬかを小さいおにぎりをつくる入れ物に入れ振り始めましたが、容器にぬかが付いてしまい丸くなりませんでした。Cちゃん「くっついちゃったよ」とAちゃんに見せると「私はこの型抜きでしてみよう」と、押さえて型を抜くタイプの型抜きを使い始めました。Bちゃん「どうやってやるの?」と、Aちゃんが型抜きを使いこなす様子に興味津々。ぬかを入れて少し押しと水が出てきたことにBちゃんは驚いていましたが、Aちゃん「水が出てきたから、中で固まってると思う」と、そっと型を外しました。すると、綺麗な型ができ、周りで見守っていた友達は「すごい」「綺麗」と拍手をして大喜びしていました。BちゃんもAちゃんに型抜きの使い方を聞き、おにぎりをたくさん作り始めました。

## 保育者の思い

- ・柔らかくなると思うという予想に共感し、試してみようとする姿を見守りました。
- ・いろいろ試して遊んでほしいトイ思いから、様々なタイプの型抜きを準備しておきました。
- ・くっついてしまった様子を見て、どれを使うとできるのか試していく様子を見守りました。
- ・周りで見ていた友達と一緒に見守り、綺麗なおにぎりの型になったことを子ども達と一緒に喜び共感しました。

## 子どもの育ちや学び

- ・ぬかを使って遊ぶ中で、ぬかの特性に気付いています。
- ・様々な種類の型抜きの中から、どの型抜きを使うとおにぎりができるのか試しながら遊んでいます。
- ・周りの友達も興味をもち、綺麗な型が取れたことを一緒に喜びながら、型抜きの使い方を知らうとする姿がありました。

## 家庭だったら・・・

たくさんの用具の中から、「これならできるかな?」と試して遊ぶ姿があります。上手いかないこともありますが、経験していく中で、さらにより良い方法を試しながら遊ぶ子どもの姿も大切にしていきたいと思います。家庭でも試そうとする姿を見守ってあげてください。